

水 難 救 助 支 援 車
仕 様 書

鳥取県西部広域行政管理組合
消防局

第1 総 則

1 目 的

この仕様書は鳥取県西部広域行政管理組合消防局（以下「発注者」という。）が平成26年度に整備する水難救助支援車（仮称）（以下「支援車」という。）及び資機材について定める。

2 適合法令

- （1）製作に使用するシャーシ他すべての資機材は最新型で新規製品とし、この仕様書によること。
- （2）すべての架装は、道路運送車両法（昭和26年6月1日法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）の関係法規に適合し、緊急自動車として承認されるものであること。
- （3）製造工場についてはISO品質管理システムを認証取得していること。

3 車 両

- （1）納入台数 1 台 （境港消防署配備予定）

（2）主要諸元

ア エンジン	ガソリンエンジン
イ 総排気量	2, 700 c c クラス
ウ 最大出力	151 P s 以上
エ 駆動方式	4 輪駆動式
オ 変速装置	オートマチック方式
カ ブレーキ装置	A B S 装置付き
キ ステアリング	パワーステアリング
ク 車両寸法	
（ア）全 長	5, 200 mm 以上 5, 640 mm 以下
（イ）全 幅	1, 690 mm 以上 1, 900 mm 以下
（ウ）全 高	2, 600 mm 以下
ケ 乗車定員	7 人以上
コ 空調設備	冷房装置は、運転席側と車両後室は個々に調節できる機能を有すること。暖房装置は車両後部室にヒーターを備えること。
サ ボデーカラー	朱色（消防緊急車仕様）

4 協 議

この仕様書について疑義が生じた場合、または変更の要を認めた場合は直ちに発注者に連絡しその指示を受け、誤りのないようにすること。また、本仕様書を変更する場合は、双方協議のうえ確認の図書などをかわすこと。ただし、その費用は受注者の負担とする。

5 受注者は製作に先立ち、この仕様書に基づき下記の図書を製作提出し、発注者と製作上の細部について、十分な打ち合わせを行い、製作承認を受けること。

- | | |
|-----------------------|------------|
| (1) 価格内訳書 | 1 部 |
| (2) 製作工程表 | 1 部 |
| (3) 艀装承認図 | 3 部 |
| (4) 積載品等配置図 | 3 部 |
| (5) その他発注者の要求する図書、書類等 | 必要数（電気配線図） |

6 登録、回送納入

受注者は、下記の事項により本仕様書による完成車を納入すること。又、車両登録（リサイクル料、車庫証明、緊急車指定申請書）及び回送納入等は、経費を含めすべて受注者の責任において行うものとする。ただし、自動車重量税、自賠責保険は発注者の負担とする。

- | | |
|----------|---------------------|
| (1) 納入期限 | 平成 2 7 年 3 月 6 日（金） |
| (2) 納入場所 | 鳥取県西部広域行政管理組合 消防局 |

7 検 査

(1) 中間検査

塗装前に部品、材料及び艀装等の検査を行うものとする。

(2) 検収検査

納入時に艀装及び積載品等の検収を行うものとする。

(3) 納入に際しては、次のものを添付すること。

- ア 車両、各機器等の取扱説明書
- イ 保証書
- ウ その他消防局の要求するもの。

8 保 証

- (1) 納入に至るまでの間において発生した、どのような事故も受注者におい

て責任を負うものとする。

- (2) 保証期間は納入日から1年間とし、製作の不備等により生じた不具合について、受注者がその責任において無償で修理するものとする。また、保証期間後であっても設計、製作及び材料の不良等の瑕疵によって不具合が生じた場合についても受注者が無償で修理するものとする。
- (3) その他については、別途契約書のとおりとする。

第2 艀 装

1 外部艀装

- (1) 車両のドアは前席左右後ろ開き、後室左側スライドドアとし、リアゲートを有すること。
- (2) 前席上部に赤色警光灯（LED式）、拡声器付電子サイレン用スピーカー、モーターサイレン及び標識灯を取付け、CDプレーヤー（マイク装置含む）の音声をスピーカーから広報できるようにすること。電子サイレンとモーターサイレンの電源線は別系統で配線すること。また、車両後部に赤色点滅灯（LED式）を取り付けること。
- (3) 消防マークをフロントパネル中央部に取り付けること。
- (4) バッテリーボックスはバッテリーの点検が容易に行える構造とすること。又、充電器（マグネット式）を取り付けること。
- (5) メインスイッチ付バックブザーを音声合成装置とは別に設けること。
- (6) 下記に掲げるものを取り付けること。
 - ア サイドフラッシャーランプ
 - イ フォグランプ
 - ウ サイドバイザー
 - エ フロントアンダーミラー
 - オ 後輪灯（左右）
 - カ 助手席アウトサイドミラー
 - キ 作業灯（左右各2箇所ずつ）
- (7) 車両全体に有効な電子式防錆装置を取り付けること。
- (8) 車両後部の窓3面はプライバシーガラスとする。（フィルム可）
- (9) 車両は完全な、防錆処理を施しステンレス及びアルミ以外の金属部分はすべて塗装及び、メッキを施し露出部がないようにすること。
- (10) 車両後部に別に指定するボートトレーラーをけん引できるよう牽引用ヒッチメンバーを取り付けること。（型式については別途指示）

2 内部艤装（前席）

- (1) 電子サイレンアンプを前席の操作しやすい位置に取り付けること。
- (2) カーナビゲーションシステムを取り付けること。
- (3) 助手席で使用するマップランプ（LED式）を取り付けること。
- (4) 作業灯及び後室照明など各部の操作に必要なスイッチを前席の操作しやすい位置に取り付けること。
- (5) 座席はすべて防水性能を有し、シート内部に水等が侵入しない構造とすること。

3 内部艤装（後室）

- (1) 後室左側に1人掛け跳ね上げ式のシートを取り付けること。
- (2) 後室左側に3人掛け以上の跳ね上げシートを取り付けること、その下部に防水性能をもつ大型収納箱を取り付けること。
- (3) 後室天井部に後室内を有効に照らす照明を設け、スイッチを前席同様、後室の操作しやすい位置に取り付けること。
- (4) 後室右側に潜水用空気ボンベ5本を積載できるラックを取り付けること。
- (5) 後室右側の壁面にスクーバセットを3基固定できる金具を取り付けること。壁面はスクーバセット等による損傷を受けない材質とする。
- (6) 後席右側に個人用資機材を掛けることのできるフックを7カ所取り付けること。
- (7) 後室天井に手すりを2カ所取り付けること。（方向については別途協議）
- (8) シャワー装置を下記により備えること。
 - ア 温度調節可能な温水シャワーとすること。
 - イ 水タンク容量は90ℓ以上とすること。
 - ウ 車外から給水でき、車外から残水を排出できる構造とすること。
 - エ 水ポンプはシャワーを有効に使用する能力を有すること。
 - オ シャワーは、リアゲート付近の車外で使用できる場所に取り付けること。
- (9) 後室床部は防水機能を有し、容易に洗浄することのできる構造とすること。
- (10) 座席はすべて防水性能を有し、シート内部に水等が侵入しない構造とすること。
- (11) インバーター装置により、正弦波300W以上を使用できるコンセント2口を後室内に取り付けること。
- (12) 自動車用消火器10型1個を後室内に取り付けること。
- (13) A3版地図及び書類の収納が可能な収納箱を助手席後部に取り付けるこ

と。

- (14) リアゲートにアシストグリップを設けること。

4 無線装置

無線装置を取り付けできるよう、別添「水難支援車接続系統図」のとおり配線及び無線機スイッチを設けること。(詳細については落札業者と別途協議する)

- (1) 無線機器一式を取り付けできるよう、堅固な専用の金属製の板を設けること。(位置については別途協議する)
- (2) 無線機本体及び制御部の電源はバッテリー直接配線(12V2芯かつ2系統)とすること。
- (3) 無線機スイッチは、無線機及び制御部用とし、パイロットランプ付とすること。
- (4) 無線送受話器及び無線スピーカー
 - ア 運転席ハンドセットは送受話器用架台にて1台取付け出来るように配線(6芯)すること。
 - イ 後室用無線スピーカーをキャビン内に取付け出来るように配線(2芯)すること。
- (5) 無線機等のノイズ対策のため、アースボンディングを取り付けること。
- (6) アンテナ取付け部がFRPの場合は、鋼板を取り付けること。
- (7) 車内に敷設する配線はフレキシブル配管内を通すこと。なお、車内の内貼りは配管を容易に点検できるよう措置すること。
- (8) 各機器及びアンテナの配線は、容量と長さに十分な余裕をとり、各種配線はフレキシブル管等により露出しない構造とし、貫通部、接続部等の保護及び防水措置(ブッシングゴム取付)を完全に施すこと。
- (9) 各配線の端末にはその機能を明示すること。

5 文字記入

- (1) 車体左右に別途指示する文字を表示すること。
- (2) 標識灯に配備所属名を記入すること。
- (3) 車体前部、後部に配備所属名を記入すること。
- (4) 車体上部に指定する対空標識を表示すること。
- (5) 車体左右に別途指示するデザインを記入すること。
- (6) 記入及び表示は貼り付けも可能とする。
- (7) 詳細は落札業者と別途協議する。

6 その他

- | | |
|-------------------------|-------|
| (1) スタッドレスタイヤ (ホイール付) | 1 式 |
| (2) タイヤチェーン (亀の甲ワンタッチ式) | 1 式 |
| (3) 三角停止表示板 | 1 式 |
| (4) 電圧、電流計 | 1 式 |
| (5) スクーバセット収納バック | 1 3 個 |
| (6) フロアマット | 1 式 |

260MHz帯空中線

260MHz帯空中線

FRP製の場合

鉄製の場合

GPSアンテナ

アンテナベース：マグネット式

アンテナベース：穴開け式
内部金属貼付

アンテナベース：穴開け式
地線付

アンテナベース5D-2V同軸ケ-ブル付

アースプレート

5D-2V同軸ケ-ブル

ANT1 ANT2
デジタル
空中線共用器
TRX RX1 RX2

デジタル無線機
ARX ATX DTRX DRX1 DRX2
外部スピーカ端子1.2 外部制御
BATT ACC GND
RS-232C

OPE部

制御部
GPS RS-232C

表示部

5m以内

分岐BOX
外部スピーカ端子1.2 外部スピーカ端子
外部制御入力 外部制御出力
ハンドセット端子

後部室内
スピーカー

運転席ハンドセット

0.5SPMVVS-2C相当×2

7/0.18 6P VSVC-018相当×2

収容BOX

BATT
ACC
GND

BATT
ACC
GND

無線機SW(表示灯付・フロント設置)

ヒューズ
20A

車両設備

車両BATT
(12V)
BATT
GND

電源ケ-ブル

C:中継端子

凡例

- デジタル用機器
- 機装メーカー設置
- 設備内ケ-ブル(近距離)
- 機装メーカー敷布設

水難支援車 接続系統図

平成 2 6 年 9 月 2 日

入 札 書 （ 第 回 ）

鳥取県西部広域行政管理組合
管理者 米子市長 野坂康夫 様

鳥取県西部広域行政管理組合財務規則（平成 8 年鳥取県西部広域行政管理組合規則第 3 号）を
承知の上、次のとおり入札します。

住 所

商号又は名称

代 表 者 氏 名 ⑩

受 任 者 氏 名 ⑩

件 名	水難救助支援車の納入
納 入 場 所	鳥取県西部広域行政管理組合 消防局
入 札 金 額	金 円

注意

- ① 入札書は封書にし、封筒表面に「入札書」と表示し、件名、住所、商号又は名称を記入すること。
- ② 入札金額は、消費税及び地方消費税を含めない金額とし、算用数字を使用してください。
なお、入札金額の訂正はできません。

平成 2 6 年 9 月 2 日

委 任 状

鳥取県西部広域行政管理組合
管理者 米子市長 野坂康夫 様

住 所

商号又は名称

代 表 者 氏 名

印

私は、次の入札に関する一切の権限を下記の者に委任いたします。

記

- 1 件 名 水難救助支援車の納入
- 2 入 札 日 平成 2 6 年 9 月 2 日
- 3 受 任 者 住 所
氏 名

印

受 任 者 使 用 印 鑑

平成 年 月 日

辞 退 届

鳥取県西部広域行政管理組合
管理者 米子市長 野坂康夫 様

住 所

商号又は名称

代 表 者 氏 名 ⑩

受 任 者 氏 名 ⑩

下記の入札物件について、第 回目の入札を辞退します。

記

- 1 件 名 水難救助支援車の納入
- 2 入 札 日 平成26年9月2日
- 3 辞 退 理 由